**令和６年度**

**革新的医療技術研究開発推進事業**

**（産学官共同型）**

**四次公募**

**研究開発提案書**

**【アカデミアタイプ】**

**研究開発課題名**

**○○○○○○○○○○○○**

**代表研究機関名**

**○○○○大学**

**研究開発代表者**

**○△　○□**

提案書類作成上の注意

公募要領の第４章を参照の上、作成してください。

提案書類に不備がある場合、受理できないことがありますので、様式への入力に際しては、以下の事項に注意してください。

（ａ）研究開発提案書は、原則として日本語での作成をお願いします。記載漏れなど不備がある場合は、審査対象外となることがあります。

（ｂ）枚数制限を定めている項目は、制限を守ってください。

・「１　提案の概要」　Ａ４用紙計３ページ以内

・「２　研究開発内容」　Ａ４用紙計４ページ以内

・「４　研究開発の実施体制図」　Ａ４用紙１ページ

（ｃ）入力する文字のサイズは、原則として10.5ポイントを用いてください。

・図表中の文字サイズはこの限りではありませんが、明瞭に判別できるようにしてください。

（ｄ）英数字は、原則として半角で入力してください。（（例）郵便番号、電話番号、人数等）

（ｅ）提案書類は、下中央にページ番号を付与してください。

（ｆ）提案書類の作成はカラーでも可としますが、評価の際には白黒コピーした書類により審査される可能性もあります。白黒コピーをした場合でも内容が理解できるように作成してください。

（ｇ）提出する際には、本注意事項と青文字の記載例と緑色の説明文（吹き出しを含む）を必ず削除して提出してください。

**（様式１－１）**

**日本医療研究開発機構　革新的医療技術研究開発推進事業（産学官共同型）**

**四次公募【アカデミアタイプ】**

直接経費と間接経費を足した額を記入してください。

**研究開発提案書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | 革新的医療技術研究開発推進事業（産学官共同型）四次公募【アカデミアタイプ】 |
| 研究開発期間（全研究期間） | 令和7年1月　～　令和XX年XX月（X年間） ※最長5年間 |
| AMEDからの委託研究開発費総額 | 全研究期間でのAMEDからの委託研究開発費総額（　XXX,XXX千円） |
| 研究開始時の産学官共同研究企業数 | [ ] １社　　 　　　　 [ ] ２社以上　※いずれかに☑。 |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | [ ] 実施する　　　　 [ ] 実施しない※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究開発代表者 | 氏名 | フリガナ | 〇〇〇〇　〇〇〇 |
| 漢　字 | 〇△　〇□　　　　　 |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 性別 | □男　□女　□その他　□回答したくない　※いずれかに☑。 |
| 生年月日（年齢） | 19XX年XX月（XX歳：令和6年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | ○○法人○○○大学 |
| 所属部署（部局） | △△△学部△△△学科 |
| 役職 | ○○ |
| 連絡先(TEL,E-mail） | XX-XXXX-XXXX　　　　　E-mail：YYY@YY.jp |
| 研究開発代表者の情報 | https://www.・・・・・・ |
| 研究開発代表者の研究歴（主な職歴と研究内容） | ○○○○○○○○○○○○ |

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色の説明文（吹き出しを含む）を必ず削除して提出してください。

**要約（グラフィカルアブストラクト）**



・別紙のグラフィカルアブストラクト（パワーポイント）を使用し、図を中心として視覚的に提案内容の概要（背景・目的・目標・研究内容・研究体制・期待される効果など）、特に、非競争領域と競争領域を踏まえ、研究の独創性と革新性、本コンソーシアムの強み、期待される成果が理解できるようスライド1枚にまとめ本ページに貼り付けてください。

**１．研究開発提案の概要**

・以下の（１）～（５）をＡ４用紙計３ページ以内で記載してください。

**（１）研究開発提案の背景・目的・研究内容・期待される効果**

* 提案内容の背景（従来技術とその課題点を含む）・目的・目標・研究内容・期待される効果などを、分かりやすく簡潔に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（２）研究開発提案の妥当性**

* 従来の取り組みでは達成できず、本事業に参加することで達成が可能であると考える理由および妥当性をご説明ください。特に、単独の研究機関では実施が困難な理由、多対多の産学連携の実施による効果については重点的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（３）****企業による社会実装に向けた研究開発の開始に至るまでのシナリオ**

* 本事業で達成しようとしている研究開発を社会実装するまでのシナリオについて、説明してください。本事業の終了までに社会実装を行う必要はありませんが、本事業の目的を踏まえて社会実装を見据えたシナリオであることが必要です。
* 研究開始時の産学官共同研究企業の体制が1社の場合は、3年目開始時およびそれ以降の産学官共同研究企業体制を複数社にするための施策と計画を明確に記載してください。

〇〇○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（４）研究開発の「非競争領域」と「競争領域」の区分**

* 前項（３）に記載した社会実装に至るまでのシナリオにおいて、研究開発の「非競争領域」と「競争領域」をどのように区分するか、その理由と非競争領域での目標（ゴール）を明示しつつ、説明してください。

【非競争領域】

* アカデミア及び産学官共同研究企業で研究開発成果に関する情報・知的財産を共有可能な研究開発領域。研究開発成果は、最終的に特許・論文として公知化される。本領域の成果を企業の研究開発で利用することを妨げるものではないが、個別の製品開発に直接的に結びつく研究開発は認めない。

【競争領域】

* 非競争領域の研究開発成果をもとに、産学官共同研究企業が具体的な製品の上市に向けて実施する研究開発領域。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（５）役割分担**

* 前項（３）、（４）を踏まえ、研究開発代表者、研究開発分担者、産学官共同研究企業が、本事業においてどのように役割を分担するのか、簡潔に記載してください。特に、研究開発分担者、産学官共同研究企業を選定した理由について、簡潔に記載してください。分担する個々の研究内容に関しては、次項で記載していただきますので、概略で構いません。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**２．研究開発内容**

・以下の（１）～（３）をＡ４用紙計４ページ以内で記載してください。

**（１）****目標達成のための課題とその解決方法**

* 本事業で行う「非競争領域」の研究開発の中で達成すべき目標およびその目標達成までの課題を提示し、その課題を設定する理由や重要性を記載してください。
* さらに、それらの課題を解決するための科学的な裏付けに基づいた解決方法を、必要に応じて文献、データ等を引用しながら詳細に説明してください。
* 複数の課題解決方法をお考えの場合は、それらの内容をご説明してください。
* 産学官共同研究企業との共同研究についても、可能な限り記載してください。その際、研究開発項目欄に「（産学官共同研究）」と記載し、委託研究開発費による研究と区分してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（２）研究開発項目の具体的内容**

* 前項（１）で示した課題解決方法をどのように達成するのか、手順、手法を必要に応じて図表を使って具体的にわかりやすく示してください。
* 研究開発代表者、研究開発分担者、産学官共同研究企業が、研究開発においてどのように役割を分担するのか、個々の研究内容を含めて具体的に記載してください。
* 研究開発の加速や社会実装を推進するために検討されていること（例えばELSI（倫理的・法制度的・社会的課題)や数理科学等との分野横断的な取組など)があれば、その必要性と研究開発内容を記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（３）研究開発体制**

* 研究開発代表者、研究開発分担者、産学官共同研究企業の役割と研究内容を示し、それぞれの研究成果をどのように活用し連携させるか、さらに相乗効果を発揮させることで、目標達成にいかに結び付けるのかについて、具体的に説明して下さい。
* 各研究開発の「非競争領域」および「競争領域」の区分を明確に記載してください。
* 産学官共同研究企業が１社という体制で研究開発を開始する場合には、中間評価前後で区分して、産学官共同研究企業の役割分担と研究内容について記載してください。
* さらに、設置予定のコンソーシアム等の体制、およびコンソーシアム等を設置することによる連携を推進するための取組に関して、具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**３．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報**

* 研究開発代表者及び研究開発分担者の所属機関、役割分担、令和6年度研究経費、エフォート等を記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和6年度研究経費※２（千円） | エフォート（％） |
| 生年月（年齢:令和6年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | ・研究開発の統括及び実施管理 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△部△△△課 | ○○博士（□△大学）H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　２名 | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

必要に応じて行を追加・削除してください。

※１ 所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※２ 研究経費については、直接経費を記載してください。

**４．産学官共同研究企業の詳細**

本事業に参画する全ての産学官共同研究企業の概要、本提案に関連のある研究開発および事業内容について記載してください。

**（１）産学官共同研究企業１（幹事企業）**

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 株式会社〇〇 |
| 連携研究代表者氏名 | 〇〇　〇〇 |
| 主たる事業内容 | ○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 本研究課題と関連する研究開発事業内容 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| URL： | http:〇〇〇〇 |

**（２）産学官共同研究企業２**

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 株式会社□□ |
| 連携研究代表者氏名 | 〇〇　〇〇 |
| 主たる事業内容 | ○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 本研究課題と関連する研究開発事業内容 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| URL： | http:〇〇〇〇 |

**（３）産学官共同研究企業３**

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | △△株式会社 |
| 連携研究代表者氏名 | 〇〇　〇〇 |
| 主たる事業内容 | ○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 本研究課題と関連する研究開発事業内容 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| URL： | http:〇〇〇〇 |

※必要に応じて、表を追加・削除してください。

**５．実施体制図**

* 本事業に参加する研究開発代表者、研究開発分担者、産学官共同研究企業の体制、連携、協力体制等がわかるように実施体制図をＡ４用紙１ページ（縦横は問いません）で作成してください。
* 代表研究機関および一つの分担研究機関に複数の研究開発分担者がいる場合は、全て記載してください。
* 各研究開発項目に関して、参加者同士のつながりを示し、データ、経費管理、研究管理に関する各種情報などの流れがわかるように示してください。
* AMEDは代表研究機関と委託研究開発契約を締結し、代表研究機関は分担研究機関と再委託契約を結んで研究開発を実行する体制とします。

【体制図記載例】

角丸四角形：アカデミア、楕円：産学官共同研究企業、長方形：AMED

点線矢印：契約の流れ、 二重矢印線：試料、情報等のやりとり

AMED

研究開発分担者1

氏名

（及び主たる研究場所）

役割「xxxxxxx」

共同研究契約

委託研究開発契約

再委託契約

資料提供

共同研究契約

試料提供

評価結果

共同研究契約

評価結果

試料提供

研究開発代表者

氏名

（及び主たる研究場所）

役割「xxxxxxx」

コンソーシアム等

**６．研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）およびマイルストーンの概要**

*(必要に応じて行を追加・削除）*

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当者氏名 | R6年度※ | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 |
| 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 1.〇〇○○の開発（目標１）(1)△△の解析(2)□□の検証 | ○○○○ |  |  |  | **MS1** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2.○○の評価手法の開発（目標２）(1)△△原理の確認(2)□□□の試作 | ○○○○ |  |  |  |  |  |  |  | **MS2（中間評価）** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3.○○〇〇（目標３）(1)○○○ | ○○○○ | ■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目をあげて、それぞれの研究開発項目別にマイルストーンを設定し、設定時期を明示して「MS1」「MS2」のように記載してください。※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。■研究開始後2年目までに中間評価を予定しておりますので、その時点でのマイルストーンについては重点的に設定してください。■産学官共同研究企業との共同研究についても、可能な限り記載してください。その際、研究開発項目欄に「（産学官共同研究）」と記載し、委託研究開発費による研究と区分してください。■別途Excelで作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | **MS3** |  |  |  |  |  |  |
| 4.○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※研究開始は令和７年１月を予定しているため、令和６年度の研究期間は３ヶ月間となります。

　研究開発実施予定期間は最長５年間であることに留意してください。

**目標達成のためのマイルストーンおよび設定理由**

・上記スケジュールで設定したマイルストーンにおいて、その到達点・達成事項、設定理由を「開発シナリオ」における位置付けや必然性が分かるよう記載してください。

目標1:○○○○

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| マイルストーン名 | 達成時期 | 担当者氏名 | 到達点・達成事項（設定理由） |
| MS1 | xxxx年xx月末 | ○○　○○ | ・○○を△△以上であることを確認（課題○○を開始するための条件） |
| MS2 | xxxx年xx月末 | △△　△△ | ・目標値□□を○○法で達成（中間評価のため） |
| MS3 | xxxx年xx月末 | △○　○△ | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| \*\*\* | xxxx年xx月末 | ○○　○○ | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
|  |  |  |  |

目標２:○△○△

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| マイルストーン名 | 達成時期 | 担当者氏名 | 到達点・達成事項（設定理由含む） |
| MS4 | xxxx年xx月末 | ○○　○○ | ・△△を□□以上であることを確認（課題○○を開始するための条件） |
| MS5 | xxxx年xx月末 | △△　△△ | ・目標値△△を○○法で達成（中間評価のため） |
| MS6 | xxxx年xx月末 | △○　○△ | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| \*\*\* | xxxx年xx月末 | ○○　○○ | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
|  |  |  |  |

**７．各年度別経費内訳**

* 記入にあたっては、公募要領の第２章及び第８章を参照してください。

**（１）AMEDからの委託研究開発費**

* AMEDからの委託研究開発費で使用する経費について、各研究機関の年次計画（年度別経費内訳）を記載してください。
* AMEDからの委託研究開発費は、研究開始から2年間の合計額は4,000万円以上、3年目以降の合計額は1.5億円以上としてください。また、産学官共同研究企業の提供する産学連携リソースが、AMEDから提供される委託研究開発費の合計額と同額以上となるようにしてください。
* 産学官共同研究企業が1社のみの体制で研究開発を開始する場合、又は産学連携リソースを含めた研究開発費の総額が5億円未満の場合、研究開始から2年間は、産学官共同研究企業の提供する産学連携リソースが、1年毎にAMEDから提供される委託研究開発費と同額以上となるようにしてください。
* 「設備備品費」は取得価格が50万円以上かつ耐用年数が1年以上の物品を指します。
* 「その他」には、主に外注費、研究成果発表費用、機器リース費用等が含まれますが、外注費とその他で分けて記載してください。
* 外注費、機器リース費用等に関して、産学官共同研究企業に対する支払いを行うことはできません。産学官共同研究企業の費用は、産学連携リソースとして計上してください。
* 間接経費は研究開発を実施するにあたって研究開発機関等の管理等に必要な経費であり、直接経費総額の30％の割合に相当する額を上限として計上できます。
* 本公募では令和６年度途中から令和11年度途中までの研究期間となりますので、人件費等の計算を行う上では注意してください。なお、本事業の研究開始は令和７年１月を予定しているため、令和６年度の研究期間は３ヶ月間となります。研究開発実施予定期間は最長5年間であることに留意してください。

**① 委託研究開発費の年次計画**

* AMEDからの委託研究開発費（直接経費と間接経費の合計額（総額））を記載してください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | 計 |
| 代表研究機関○○大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分担研究機関１○△大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分担研究機関２△△大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(必要に応じて行を追加・削除）

**② 委託研究開発費の内訳**

**代表研究機関：**○△大学

　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | 計 |
| 直接経費 | 物品費 | 設備備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費 | 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費 | 人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 外注費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 間接経費（上記経費の30%上限） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

**分担研究機関１：**△△大学

・ 必要に応じて表をコピーしてお使いください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | 計 |
| 直接経費 | 物品費 | 設備備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費 | 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費 | 人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 外注費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 間接経費（上記経費の30%上限） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

**設備備品に関する情報**

* 購入価格が100万円以上の設備についてリストアップしてください。
* 産学官共同研究企業から設備を購入する場合の費用は計上できません。産学官共同研究企業の費用は産学連携リソースとして計上してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備備品名（メーカ、型式など） | 購入年度（令和x年度） | 金額（千円） | 使用目的と必要性 | 設置機関 |
| ○○分析装置 | 令和６年度 | ＊＊＊ |  | ◆〇大学 |
| 年度計 |  |  |  |  |
| □□装置 | 令和７年度 | ＊＊＊ |  | 〇◆大学 |
| 年度計 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 総計 |  |  |  |  |

(必要に応じて行を追加・削除）

**外注費に関する情報**

* 100万円以上の外注費用について、外注先と外注費用および外注内容を下表に記入ください。
* 産学官共同研究企業に対して外注費用を支払うことはできません。産学官共同研究企業の費用は産学連携リソースとして計上ください。
* 外注先が未定の場合、外注先未定と記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度／件名 | 金額（千円） | 外注先と外注内容および必要性 | 発注者 |
| 令和６年度○○の分析 | xxxx | 外注先：□□株式会社外注内容：○○○材料の□分析必要性：研究開発項目○○達成のため△△で必要である | ●●　●●（◆〇大学） |
| 年度計 |  |  |  |
| 令和７年度□□装置の製作 | xxxx | 外注先：△△株式会社外注内容：□□実験に使用する○○装置の設計と製作必要性：○○のため | □△　□△（〇◆大学） |
| 年度計 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 総計 |  |  |  |

(必要に応じて行を追加・削除）

**（２）産学官共同研究企業からの産学連携リソースの詳細**

* 本事業に参加を予定している産学官共同研究企業からのリソースの提供（研究支援）の詳細を、参加企業毎に記載してください。全ての産学官共同研究企業からの研究支援の総額が、AMEDから提供される委託研究開発費の総額と同額以上になっていることが必要です。①にて年次計画を記載し、②にてその詳細を記載してください。
* また、産学官共同研究企業が1社のみの体制で研究開発を開始する場合、又は産学連携リソースを含めた研究開発費の総額が5億円未満の場合、研究開始から2年間は、産学官共同研究企業の提供する産学連携リソースを、1年毎にAMEDから提供される委託研究開発費と同額以上としてください。
* 産学連携リソースとしては、研究開発費の他に以下も該当し、計上が可能です。
	+ 委託研究開発機関の研究設備を使用した場合に支払う賃借料
	+ 委託研究開発機関のハードウェアあるいはソフトウェア使用料
	+ 産学官共同研究企業より、研究開発のために委託研究開発機関に研究者を派遣する場合の人件費※
	+ 委託研究開発機関に提供する試薬、サンプルの費用
	+ 委託研究開発機関に提供する研究機器の費用
	+ 委託研究開発機関に提供するソフトウェアの費用
	+ 委託研究開発機関に提供する試作品や製造機器の作成費用
	+ 委託研究開発機関から依頼されて実施する、研究開発要素を含まない、検査・分析・解析等やデータベース等のソフトウェア開発に関する業務の費用

※研究者派遣による人件費等の場合、派遣される研究者と雇用関係にある組織の給与体系等を踏まえた合理的な算出方法により、金額を算出してください。

**①産学連携リソースの年次計画**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 産学官共同研究企業 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | 総合計 |
| （幹事企業）株式会社○○（連携研究代表者名） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| △△株式会社（連携研究代表者名） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(必要に応じて行を追加・削除）

**② 産学連携リソースの内訳**

**産学官共同研究企業１（幹事企業）**：企業名　連携研究代表者名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 支援先 | 支援内容 | 金額（千円） |
| 令和６年度 | ◆○大学 | 研究費 | xxxx |
| □□大学 | 研究者派遣 | xxxx |
| 年度計 |  |  |  |
| 令和７年度 | ○◆大学 | 人件費 | xxxx |
| 年度計 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 総計 |  |  |  |

(必要に応じて行を追加・削除）

**産学官共同研究企業２**：企業名　連携研究代表者名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 支援先 | 支援内容 | 金額（千円） |
| 令和６年度 | ◆○大学 | 研究費 | xxxx |
| □□大学 | 施設使用費 | xxxx |
| 年度計 |  |  |  |
| 令和７年度 | ○◆大学 | 人件費 | xxxx |
| 年度計 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 総計 |  |  |  |

(必要に応じて行を追加・削除）

**③ 産学連携リソースの妥当性**

* 産学官共同研究企業が拠出する産学連携リソースに関して、上記の年次計画及び内訳の妥当性を簡潔に200字程度で記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**８．研究業績**

本提案に関連のある研究業績について、5件を限度にリストアップして記入願います。

著者が提案者を含めて複数名の場合は、提案者名に下線を付してください。

研究開発代表者に関しては、代表者として適切であることを明確に説明する内容を、実績欄に記載ください。

**（１）研究開発代表者○○　○○**

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

**（２）研究開発分担者１　○○　○○**

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

※全ての研究開発分担者について記載してください。

**９．研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

* 本研究開発課題の研究開発代表者および研究開発分担者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。
* 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。
* 「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

**研究開発代表者○○　○○**

**（１）応募中の研究費（令和６年○月○日時点）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額](千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本事業に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R6～R11） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R5～R6・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載 | 代表 | 3,000研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）[9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000千円）\* |
| 令和5年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

**（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和６年○月○日時点）**

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額] (千円) | エフォート(%) | 他の研究費に加えて本事業に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動**

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

エフォート：　50　％

**研究開発分担者１○○　○○**

**（１）応募中の研究費（令和６年○月○日時点）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額](千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本事業に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R6～R11） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R5～R6・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載 | 代表 | 3,000研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）[9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000千円）\* |
| 令和5年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

**（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和６年○月○日時点）**

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額] (千円) | エフォート(%) | 他の研究費に加えて本事業に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動**

エフォート：　50　％

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

* 上記（１）～（３）について、研究開発分担者全員分を記載してください。

**１０．これまでに受けた研究費とその成果等**

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の代表者のみ。）結果も簡潔に記載してください

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

**（１）【AMED事業】**

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、研究開発代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、研究開発分担者、40,000千円

××××の成果を得た。

**（２）【それ以外の研究費】**

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、研究開発代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

**１１．本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等**

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

**（１）医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）PPIについて**

本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。

※記載に係るポイントは、AMED公式ウェブサイトをご参照ください。

AMED研究への患者・市民参画：<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

**（２）「２．研究開発内容」で記載している項目以外で、研究成果の目安となる数値指標等**

本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。

**（３）国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について**

国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

**（４）キーワード（疾患名以外、10単語以内）**

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

**（５）対象疾患（10個以内）**

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．